

Seiun

Interview

30周年記念 スペシャルインタビュー さとう宗幸さん

輝く人 4人からのメッセージ

恩師から 楠瀬先生・西元先生

新幹事キャンパスライフ

同窓会報告

幹事's 同窓生探訪

同窓会室より

第7回総会・懇親会の報告

幹事総会報告

「青雲会」ゴルフコンペ報告

泉ヶ丘通信

club activity

卒業生母校へ帰る

泉ヶ丘祭info

創立30周年記念事業の報告

アドミッションセンターより

泉ヶ丘東京同窓会のご案内





30周年記念

スペシャルインタビュー

～さとう宗幸氏を訪ねて～

Special Interview



被災地の写真等は取材当日に撮影したものです。写真：普通科6期生 岸本威也

現実と真実は違う

「本日はお忙しい所、私たちのインタビューの依頼を快くお引き受けいただき、ありがとうございます。」

さとう いえいえ、とんでもないです。

「我が校は、先日、創立30周年を迎えました。その時の式典で、管弦楽部がさとうさんの作曲された「泉ヶ丘讃歌」を演奏しましたので、まず、その模様をご覧ください。(式典のDVDを鑑賞しながら)」

さとう いやあ、恐縮ですねえ。オーケストラのアレンジというのも新鮮です。管弦楽部も大人数だし、大きな学校になられたのですね。

「さとうさんは、今年、デビュー 35周年を迎えられるそうですが、「泉ヶ丘讃歌」以外で手がけられた校歌などというのは、どのくらいありますか？」

さとう そうですねえ、一番初めは仙台市内の新設の小学校で、今に至るまで校歌や社歌で数十曲は作りましたね。その中でも「泉ヶ丘讃歌」は、うんと初期の、おそらく3つ目、4つ目ぐらいに作らせてもらったんじゃないでしょうか。

「そうだったんですね。ところで、「泉ヶ丘讃歌」を、さとうさんが作曲されることになったのは、どういういきさつからなんでしょう？」

さとう 大屋登史子さん(大屋政子さんのお嬢様で、現・学校法人帝塚山学院理事)という方がいらっしゃるのですが、その方を通じての依頼でしたね。自分の口から言うのもなんなんですけど、当時、大屋さんが僕の楽曲を好んでくださっていたということから、僕と、作詞をされた庄野英二先生にお話があったようです。お母様の大屋政子さんが有名人だったこともあり、よく覚えています。その時からの縁ですね。それから学校にお伺いした時の

ことも思い出しますね。生徒のみなさんのマナーの良さや、PTAの方々の飾らぬおもてなしなど、すごく好印象を持って帰った記憶がありますね。

「「泉ヶ丘讃歌」の発表会で、学校にお越しくださった時、初めてお会いするさとうさんに、「テレビで見た仙八先生やあー」と、感激しながら、私たちは楽しい時間を過ごしていました。(笑)」

さとう そうか、「2年B組仙八先生」の、ドラマの直後でしたもんね。(笑)

「校歌を作る時に、何か心がけたりしていることはありますか？」

さとう 在学中に校歌を歌うことは当然ですが、卒業してからも当たり前のように歌ってもらえる歌を作ろうと思っています。ですから僕は、「一学校校歌」の他に、サブタイトルを必ずつけるようにしていますよ。例えば、その学校の校庭にかやの木というシンボルツリーがあるなら、「かやの木の丘」のようにサブタイトルをつけて、卒業してからは、「かやの木の丘」として口ずさんでほしいと。校歌を作るときはいつもそうしていますね。学校は卒業すると離れてしましますが、そこで過ごした日々やお世話になった先生への感謝、培った友情はずっと永く続くよ、という思いを歌詞には込めるよう心がけています。

「私たちも何かの機会に集まれば「泉ヶ丘讃歌」を歌いますし、今でも卒業生の誰もが歌えますよ。」

さとう それはとてもうれしいですね。

「今回のインタビューに先立ち、今日の午前中から久保さん(さとう宗幸氏のマネージャー)に、東日本大震災の被災地を数ヶ所案内していただきました。私たちは現状を見てたいへんな衝撃を受けてきました。さとうさんは、これまでにたくさんの避難所や仮設住宅を訪問されたとお聞きしています。被災地の現状を肌で感じていらっしゃるさとうさんとしては、どのような感情をお持ちでしょうか？」

さとう 被災地に行かれたんですね。そうですね、メディア、例えばテレビもそうですが、全国へ向けて発信される内容は、確かに現実ではあるんですが「現実と真実は違う」ということを強く思います。メディアはメディアらしく、もっと真実を伝えていけばいいのになという歯がゆさを感じることはありますね。あれだけの大きな災害ですから、復興市場や復興商店街ができたりすると、脚光を浴びてそれが全国に報道されます。それを見ている方は「ああ、被災地も一歩一歩前進しているんだな」という感覚を持ちますよね。でも、仮設を回って歩くと、そこに住んでいるほとんどの方っていうのは、老夫婦だったりするわけですよ。そんな、家を無くされた老夫婦がそこから自立するなんて、どうすればいいんだよっていう真実があるんです。一応は町や市の自治体で、仮設に住んでいる方たちの住宅を建設し始めてはいるんですが、その絶対数たるや未だとんでもなく少ないんです。そして、僕たちがイベントで行っても部屋から出てくることもない、表に出ない方というも話に聞くとたくさんいるわけで、そういう方たちが部屋の中で一体どんな話をしているんだろう?と、考えると、これは本当に身につまされる思いがします。土地も建物も失って、先のことも考えられない。そんな方が未だ多く存在するということに対して、僕たちは地元の被災地に住む人間として、もっと理解して深く寄り添っていかなければいけないと思っています。

「先ほどの「現実と真実は違う」というお話、私たちもこうして現地に赴いて、お話を聞かなければ決して知ることがなかった一面があるという意味で、とても深く感銘を受けました。報道されるようないい話ばかりではないということを改めて思い知らされて、正直、どうしていいのかわからなくなります。」

さとう もちろん、全国からいろんな人がいらっちゃって被災地を見たり、復興市場や商店街で買い物をし、復興に向けて歩き始めた人の応援をしてくれるということは、我々にとってもすごくうれしいことです。ただ、よくテレビなどでも、被災地を訪れた方が「現地の人と交流して、かえって私たちが元気をもらいました」などと、発言されているのを聞きますが、僕自身はそう思えたことなど一度もないです。行く度に、みなさんが笑顔に向けてくれればくれるほど、切なさ、つらさ、悲しさを抱いて帰ってきます。

ただ、もうつらいだけです。日々の暮らしを少しは応援できても、長い目で考えると、どうやって自立していくんだろうという思いになります。始めの頃は、数多くの避難所から最後の一人が出る時がやっと復興の一步目だねと、口ぐせのように言っていたんです。今、口ぐせのように言っているのは、たくさんある仮設住宅から最後の一人が出

る時、その方が自立した時がやっと、ふるさとの再生の第一歩になるんだということです。ですから、ふるさとを再生するなんてことは、まだまだ先ですね。そこまでできて、初めてスタートラインですよ。10年先か20年先か、僕にはちょっと想像できないですね。

とにかく、長い道のりになるでしょうね。

「一本当にそうですね。」

さとう また、泉ヶ丘校にもお邪魔したいですね。今の若い世代の方にも改めて「泉ヶ丘讃歌」の良さを知ってもらいたいですし、震災の話とコンサートを同じステージでもしてもいい。声をかけてくだされば、喜んで行かせてもらいますよ。

「そう言ってもらえると、とてもうれしいです。最後になりましたが、同窓生に向けてメッセージをお願いします。」

さとう この人生の中で、こういう縁(えにし)をもらったということは、とても有難いし、うれしいことです。こういう縁をもらうと、やはりその学校のことが気になるものです。帝塚山学院泉ヶ丘校を卒業されたということを誇りに思い、同窓生の方々がさまざまな分野で活躍されることを願っていますし、何らかの形で応援もしたいですね。このご縁を大切にしていきたいと思います。

「ありがとうございました。」

Profile さとう宗幸

1949年1月25日生まれ
シンガー・ソングライター

学生時代からギター片手に歌うセミプロのフォークソング歌手であった。1977年からNHK-FM仙台「FMリクエストアワー」でDJを務め、リスナーから寄せられた詩に曲をつけ、歌をつくるコーナーを持つ。このコーナーから生まれたのが『青葉城恋唄』で、1978年にキングレコードから発売され、全国的に大ヒットを記録し、数々の音楽新人賞を獲得。仙台を代表する曲のひとつとなった。「青葉城恋唄」のヒットをきっかけに全国区の人気者となり、ドラマ「2年B組仙八先生」では伊達仙八郎として主演し、生徒役を務めた薬丸裕英・本木雅弘・布川敏和(この3人は後にシブがき隊としてデビュー)三田寛子らと共演した。また、NHK大河ドラマで歴代1位の視聴率を得た「独眼竜政宗」では、支倉常長を演じた。1995年より地元仙台の夕方ワイド番組「OH!バンドス」の司会となる。番組は高視聴率を獲得し続けており、いまや司会者「宗さん」として宮城を代表するタレントとなっている。



大屋登史子さんのお話 (学校法人 帝塚山学院 理事)



昭和58年頃のことでしょうか、泉ヶ丘校設立時代からご尽力いただいていた米田伸次先生から、私に「泉ヶ丘校の校歌をぜひとも作りたいので、作曲して下さる方を探している」と、お話がありました。さとう宗幸さんに依頼すれば、泉ヶ丘らしいさわやかな曲になるのではないかと思います、大ファンであった私が直接電話で(!)お願いしました。初めて泉ヶ丘讃歌を聴いたのは、泉ヶ丘校での発表会でしたが、イメージ通りの楽曲で、思わずさとうさんに👏しましたね(笑)。

Heart & Technologyを めざして



普通科 2期生
山下 雅伸
向陽技研株式会社

泉ヶ丘校を卒業して、早や26年が経過しました。高校時代は決して優秀な学生とは言えなかった私が家業を継承し、経営者としてなんとかやれているのも何か不思議な縁の積み重ねだと思えます。高校時代は3年間理系に在りながら、結果として大学は文系に進学しました。大学時代には体育会航空部に属し、またカナダの大学に1年留学致しました。卒業後就職した大手非鉄金属会社を家業の経営危機から4ヶ月で退職を余儀なくされ、以来今までの坊ちゃん気分は完全に吹き飛び、日々発生する試練に修行僧のような形相で立ち向かう日々が続きました。社会に出たときの厳しかった環境が結果として今の私を形作っているような気がします。

父の会社に入社をしたときは従業員数20名、売上げ6億円ほどの典型的な町工場でしたが、10年前に事業を継承し、リーマンショック後も堅調に成長することができました。今では「Heart & Technology」という経営理念も制定し、入社時と比べて売上げで4倍、本社従業員数で3倍まで伸ばすことができました。また7年前独资で設立した中国法人では、中国人従業員150名を数えるまでになりました。弊社ではソファや座椅子に使われるリクライニング部品を自社ブランドで開発、製造してグローバルな顧客へダイレクトに販売しています。ホームセンター等に売られている身近な座椅子等の角度調整部品からドイツやイタリアのトップブランドのソファメーカーまで商品を供給しています。日本と中国に生産拠点を構え海外販売比率も70%を超えるまでになりました。いろいろな国籍の海外パートナーや取引先と仕事を進めていくことや、若い社員が仕事を通じて成長していくことが、私の大きなやりがいと喜びになっています。

現在娘2人も泉ヶ丘中、高校でお世話になっており、一昨年泉ヶ丘校に来た米国人留学生を半年間受け入れさせていただきました。その影響が長女も昨年夏より米国留学しております。私だけでなく、子供たちも泉ヶ丘校の時には厳しく、時には大きな愛情の中でのびのびと育っており、先生方には大変感謝しております。これからもこの良き校風を継承し、今後の日本を背負って立つ人材の育成に尽力していただきたいと期待しています。



船乗りの仕事とは？



普通科 22期生
菅原 孝仁
出光タンカー株式会社

泉ヶ丘校を卒業して6年が経ちました。卒業後は山口県下関市の水産大学校に進学し、現在は出光タンカー株式会社に三等航海士として勤めています。仕事の内容としては、主に中東と日本の間を何往復もして原油を運んでいます。船の大きさは東京タワーと同じ長さで333mあり、1回で運べる原油の量は日本人が半日で消費する量と同じです。洋上では朝の8時から12時と夜の20時から24時までブリッジ（船橋）に上がり、船を安全に航行するための見張りをしています。船内には30人の乗組員が乗っていて、日本人は5人ぐらいしか乗っておらず、他は全員フィリピン人です。そのため、最初船に乗ったときは英語を聞くことも書くこともできませんでした。今ではフィリピン人の方々とコミュニケーションもとることができています。船内では週に1回日本人の乗組員で飲み会をやっています。アルコール類は免税なので1本100円ぐらいで飲むことができます。また食事フィリピンの方が作ってくれますが、刺身や味噌汁などといった日本食も食べることができます。娯楽としては本やDVDが船内にあり、また3ヶ月に1回デッキビリヤードといった甲板上で行う遊びもあります。景品もカメラなど豪華景品もあり、仕事の息抜きになっており乗組員全員が楽しんでいます。また航海中はイルカの群れや、流れ星も見ることができ癒される部分もあります。

仕事は8ヶ月乗船し4ヶ月休暇のサイクルが基本です。休暇が長いので、自分の趣味や旅行に費やすことができ、充実した休日を過ごすことができます。そんな中でも、休みの間も船の勉強や英語の勉強をして、TOEIC®やもっと上級の船の資格を取得できるように、次船にのるときに忘れないように心がけています。

高校3年間担任が栗原先生で英語を親身に教えていただいた思い出があります。当時はとても厳しく、英語の勉強をすることが嫌になりそうでしたが、今このような仕事に就いて英語をもっと勉強しておけば良かったと思うことがあります。泉ヶ丘校でたくさん先生の先生方に教わったことや、友達と学んだことはいまでも役に立つことがあります。卒業しても泉ヶ丘校を訪ねると当時を思い出すことができ、先生方や友達に会えることを楽しみにしています。



好きこそ物の上手なれ



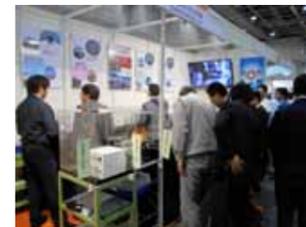
普通科 6期生
奥野 芳昭
大阪フォーミング株式会社

泉ヶ丘校を卒業して22年が経ちました。現在はねじの製造に携わっています。弊社では、自社ブランド品「E-LOCK」をはじめ、他社のOEM品など数多くの製品を製造しており、東京スカイツリー、高速道路、ソーラーパネル、自動車など多くの箇所で使用して頂いています。ステンレスの鍛造では、他社に無い秀でた技術を保有しており、昨年その技術が認められ、大阪府より「ものづくり優良企業賞」を受賞させて頂きました。更には、新製品の開発において日刊工業新聞社及びモノづくり日本会議主催の超モノづくり部品大賞にて、「機械部品賞」の受賞を頂くなど高い評価を頂戴することができました。製造業は世間一般には、「きつい、汚い、危険」と言われる3Kの仕事ですが、「モノを生み出す・モノを創り出す」素晴らしい仕事であり、この仕事に携われることを誇りに思っています。

ねじは鋸螺とも言い、螺旋でねじ込むようにして刺す鋸と言います。螺旋は二次元に展開すると傾斜となり、傾斜に球を乗せると転がるメカニズムが「緩み」だと言います。人のDNAもまた螺旋で形成されており、ねじが緩むのと同様に人にも緩みの性質があると言います。また、太陽系、銀河系、宇宙の全てが螺旋のうずまきで形成されており、この様に生命の根本になるものを持ち兼ね備えたものがねじであり、「たかがねじ、されどねじ」と言われる由縁であるとも言います。こじつけかもしれませんが、ねじの奥深さに驚き、魅了されたことは事実であり、ねじが好きになったきっかけのように思います。好きだからこそ、「正直に素直に」・「誠心誠意」と誓い、必要としてくださるお客様がいるかぎり、安心・安全・安定をめざし、確実な信頼を提供することが感謝であり、責務だと考えております。

今年は泉ヶ丘校におかれましては、創立30周年を迎えられるとのこと、誠にありがとうございます。非常に感慨深く、伝統の重みを感じております。この伝統を汚すことの無いように日々精進し、地道に、ひとつずつ、目の前にあることから、「三方善し」の精神で取り組みたいと考えています。

最後になりましたが、泉ヶ丘校のますますのご発展とこの良き伝統の継承を願うとともに、恩師の諸先生方ならびに同窓生の皆様の一層のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。



守ろう命!～防災を通じて～



国際科 19期生
岡本 裕紀子
防災クリエイティブマネジメント

8年前に泉ヶ丘校を卒業後、私は慶應義塾大学・同大学大学院に進学しました。大学院在籍中は、関東大震災についての研究を進めながら、東京の防災コンサルタント会社で研究員を務めておりました。大学院卒業後に帰阪し、去年10月に防災クリエイティブマネジメントを開業しました。当社は大阪狭山市を拠点に防災講演、防災マニュアル・BCP（事業継続計画）の作成、防災訓練の企画・実施、防災用品販売等、防災コンサルタント事業を展開しています。

開業以来、数社の企業の防災マニュアルを作成致しました。「今まで会社で全く震災対策をしていなかったけれど、防災マニュアルを作成したことで、社員の防災意識が向上した」というご意見を頂くことが多く、防災という仕事に対してやりがいを日々感じております。

今年7月17日には帝塚山学院泉ヶ丘中学校の全学年のみなさんを対象に防災講演をさせて頂きました。キャリア教育の一環で防災の観点から「命の大切さ」についてお話ししました。また、今年2月には帝塚山学院小学校でも防災の授業をさせて頂き、ゲストティーチャーという形で母校に戻ることができ、大変うれしく思っております。上記以外にも青年会議所（JC）、大阪狭山市消防本部、大阪狭山市狭山中学校区まちづくり円卓会議等で講演致しました。家庭や企業でできる防災対策はもちろんのこと、講演会主催者様のご要望に応じて「食と防災」をメインに講演させて頂く機会もありました。

私は「自然災害が発生した際に1人でも多くの方々の命を救いたい」ということをモットーにお仕事を進めています。地震大国・日本ではいつどこで地震が発生するか分かりません。特に大阪には南海トラフを震源とする地震と上町断層・生駒断層を震源とする地震という2つの大きな脅威があります。みなさんのご家庭や会社の防災対策は万全でしょうか?過去の災害の教訓を生かし、来るべき「その時」に備えることが必要不可欠です。(http://www.bousai-creative.com/)



恩師から



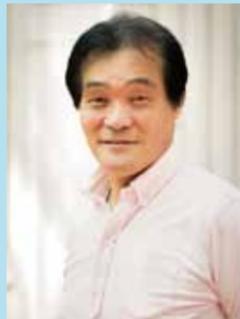
楠瀬 寿夫 先生(体育)

卒業生の皆さん、お元気ですか?体育科の楠瀬です。「光陰矢の如し」といいますが、本当にその言葉通りでありまして、開校3年目の昭和60年に泉ヶ丘校に着任して28年目を迎えました。いつの間にか、髪の毛もかなり白いものが混じり、年齢も50歳を越えてしまいました。職員室を見渡せば、自分より年下の先生が増えて、改めて時の流れをしみじみと感じます。

さて、今回執筆を依頼された「青雲」ですが、いつも楽しく拝読させて頂いています。とりわけ「輝く人」と「同窓生探訪」は毎回楽しみにしています。誠に失礼なんですけど、本校在学中のイメージからは、想像ができないくらい立派に社会で活躍されている卒業生を見て、とてもうれしく思うと同時に自分の人を見る目のなさを反省したりしています。

現在、私は生徒指導部長をしています。主な仕事は、生徒が安全で安心な学校生活を送れるようにすることです。また、

学校外の仕事も多く、他校の生徒指導部長が集まって、情報交換を行ったり、弁護士や大学教授など様々な分野の方の講演を聞いたりしています。出張を重ねていくと、顔見知りの先生が増えて、自然にいろんな話が弾むようになります。いわゆる「雑談」というやつです。この「雑談」から得る情報や知識というものは結構役に立つことが多いのです。しかしながら、つい先日、新聞を読んでいると「雑談力」という記事が目に入りました。内容は最近の若い人は、職場であまり雑談をしないそうです。もちろん仕事や授業中にはいけません、休憩中や食事中にもあまりしない。何をしているかという、携帯電話・スマホと「にらめっこ」している人が多いそうです。なんか寂しくないですか?職場や学校の仲間たちと大いに雑談してほしいです。くだらない会話の中にも、得るものはあるはずですよ。そして、きみたちの母校にも「雑談」をしに来てください。楽しみに待っています。



西元 孝 先生(社会)

卒業生の皆さん、お元気ですか。皆さんは社会の第一線で、またご家庭でそれぞれ活躍のことと思います。

学校は創立31年目を迎え、私も今年から31期生の高校1年の担任をしています。創立30周年の記念事業がさまざまに行われたことや、私自身3年間持ち上りの担任は7回目の今回が最後であろうことから、過去を振り返ることも多くなりました。

私がこの学校に勤務することになったのは、開校3年目のことです。「ひと味違うハイレベルの進学校」をめざすという意気込みで、当時40代前半の先生方を中心に学校づくりが進められていました。国際科の女子生徒はいたものの男子生徒が圧倒的多数で(教員も女性の専任教諭は一人だったと思います)、ときに空回りするほどのスバル的熱意と、一方で妙にのんびりとしたおおかさが同居する面白い空間でした。新米教師であった私も、20代から40代前半が中心の平均年齢が随分若い教師集団の中でもまれな

がら日々を過ごしました。

今、学校は生徒数が1300名を超え、男女共学により女子の人数が男子を上まわり、教員も女性の先生が格段に増えました。そういう意味ではまったくフツウの学校になったようで、少し寂しく感じることもあります。教師としての私は、そのような中で相変わらず教科指導や担任としてもがきながら日々を送っています。目の前の仕事をこなすことに追われつつ、しかし時として思うのは少し先の学校の姿です。今、社会は全体として余裕を失い、目に見える成果を性急に求めがちです。学校という空間は、しかしそうした社会と少し距離をおき、生徒たちが落ち着いて学び、成長できる場を提供する役割があると思います。この学校の教師として思いがけず30年近くが過ぎましたが、まだまだ試行錯誤の毎日を送っていきたく考えています。

卒業生の皆さんのご健康と、より一層のご活躍をお祈りします。

新幹事 大学生 キャンパスライフ

Voice

大学に入學してまもなく3ヶ月が経ちます。新しい環境の中で様々な刺激を受けながら、そこで偶然出会った学友や教授と切磋琢磨しながら、一日一日を過ごしていると。今日は、そんな私のキャンパスライフを紹介しましょう!



関西大学経済学部 木村 翔太 (国際科 27 期生)

Voice

もう夏になっちゃいましたね。大学の入学式が昨日のことのように思い出せるのに、時間がたつのは早いです(笑)。ここでは、私の今の生活の一部を見せちゃいます(´・ω・`)! 笑



大阪府立大学 現代システム科学域 環境システム学類 山本 菜菜美 (普通科 28 期生)

5:40 起床
目覚ましのアラームで今日の始まり。

6:00 朝食
朝のニュースや新聞で、欠かさず現在の情報を理解する。

6:55 登校
自転車で最寄の駅まで。駐輪場の係員に元気づけ挨拶するのが私の日課。

7:15 電車に乗車
通勤・通学ラッシュの混雑する電車で通学。なかなか大変ですよ...

8:30 大学到着
講義30分前に到着。高校時代から継続している早目の通学。この時間に、講義の準備などを行う。これが、私にとって最も大切な一人の時間。

9:00 講義開始
講義開始。今日も様々な知識を学んでいく。講義によっては、楽しい教授もいるので、伸び伸びと講義を受講できる。

12:00

17:50 講義終了
今日の講義が終了。今日もまた一つでも多くの知識学ぶことが出来た。

18:15 下校
帰宅中は、今日の講義の復習を欠かさず行う。この時間内で復習したことが、次の講義に活かされる。

19:30 帰宅
「ただいま。」温かく迎えてくれる家族。とてもホッとします。

20:00 夕食
今日の一日の話など楽しく食事をする。

20:40 学習時間
今日の講義の復習、明日の講義の予習。さらには、時間があれば、資格の勉強も。

22:40 家族団欒
この時間は欠かせない。家族全員が集まって過ごす時間が私の幸せ。

23:40 就寝
明日の講義の時間割、洋服を準備した後、就寝。「おやすみなさい。」

7:00 起床
学校が近いので、朝はゆっくりで大丈夫です。

8:15 家を出る
通学時間は30分くらいです。キャンパス内が広いので、自転車で移動します。

9:00 授業
1限からある時は、この時間からです。体育のテニスが楽しいです!

12:10 昼食
食堂が安くて美味しいです! 食堂以外にもカフェやサブウェイがあります。空き時間がたくさんある時は、友達と外に食べに行ったりもします。

16:05 授業終わり
この時間に終わることが多いです。部活がある日は終わってからすぐ始まります!

17:30 バイト
近くの塾で、講師のアルバイトをしています。アルバイト代で友達と遊んだり、買い物をしたりします! 旅行に行くための資金も貯めたいです!

22:30 帰宅
バイトのある日はだいたいこの時間です。部活の日もご飯を食べに行ったりして、だいたいこの時間になります。

プチ 同窓会

普通科24期生 同窓会

辻林 謙(普通科24期生)

平成24年8月15日に普通科24期生で同窓会を行いました。成人式以来の同窓会なのでおよそ一年半ぶりに同期で集まることができました。お盆の真つただ中だったので約60名で集まることができました。成人式ぶりに顔を合わせる人たちも、互いに近況報告や思い出話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。またビンゴ大会では実用的な物からバラエティグッズなどできるだけ大勢に当たるようにし、とても盛り上がりました。今年から社会人として各地に散らばった同期もたくさんいますが、また皆で集まれる会を催したいと思います。



普通科15期・国際科14期 合同の同窓会

岡北 一孝(普通科15期生)

平成25年1月3日にスイスホテル南海大阪において、普通科15期生、国際科14期生合同の同窓会を開催しました。40名程度の同級生たちに加えて、三村先生、谷先生、松下先生、徳留先生にご参加いただきました。高校卒業以来の顔合わせもみられる懐かしい再会のひとときでした。

先生方のお優わりのない姿や、30歳を少し過ぎてそれぞれ色々な立場で活躍している友人たちの様子がとても眩しかったです。

次は平成29年の年始に開催予定です。同級生の皆さん、次回もぜひ足を運んでください。



中学2・5・8・11・21期 同窓会

島田 裕典(普通科13期生)

平成24年11月17日に『四ツ橋パールAny』にて中学同窓会を開きました。中学2期、5期、8期、11期、21期の合同同窓会で約50名、さらに恩師の小池先生、森先生、栗原先生、登先生、藪本先生にもご参加いただき、盛大に行う事ができました。

また、当日は小池先生のお誕生日でもあり、皆で『Happy Birthday』を合唱しお祝いしました。ケーキのロウソクの火を吹き消す小池先生の実験が印象的でした。

先輩後輩とも交流を深めることができ、一体感のある同窓会でした。

今後も学年を越え、合同の同窓会を行っていききたいと思います。今回、参加できなかった方、次回は是非参加していただければと思います。



普通科3期・国際科2期 合同の同窓会(むつみ会)

奥村 幸恵(国際科2期生)

平成24年12月29日、普通科3期生と国際科2期生の同窓会を大阪・心斎橋で開催しました。Facebookやメールを通じて連絡を取り合い、当日は松下先生と23名の同級生たちが集まりました。年末というともあり、普段なかなか会えない東京や海外在住の人たち、とても懐かしい人たち、卒業以来25年ぶりに再会した人たちなど...気心知れた同級生たちと久しぶりに会い、高校時代の懐かしい話も尽きず、とても楽しくにぎやかな同窓会となりました。

1次会のあと、「洋酒くろしお」(普通科2期生榎賀先輩のお店)に流れての2次会もさらに盛り上がり深夜まで続きました。急に企画したため、連絡をとれた人達だけでの同窓会となってしまいましたが、また近いうちに盛大な同窓会を企画したいと思っています。同級生のみなさん、またご参加ください!!



普通科26期・国際科25期 同窓会

松岡 大輔(国際科25期生)

平成24年9月2日(日)、ホテル・アゴラリージェンシー堺にて高等学校3年コース(平成23年度卒業生)の同窓会が開催されました。同窓生56名、先生4名の計60名の参加がありました。たいへん盛況な会となり、これも同級生の皆様のご参加ご協力を賜りましてのことであり、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

卒業ぶりに顔を合わせました同窓生たちは、懐かしい思い出話に花を咲かせるとともに、恩師たちと卒業した今だからできる話で大変盛り上がりました。

今後も帝塚山学院泉ヶ丘高等学校の卒業生としてこうした「繋がり」をより深めて参りたいと存じます。



住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局までご連絡ください。また、ホームページの住所変更届けボタンをクリックし、フォームに入力するだけで簡単に手続きができます。よろしくお願いたします。

ホームページアドレス

<http://www.tezuka-izumi.jp/>

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局
TEL&FAX.072-293-8680 [E-mail] t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

帝塚山学院 レポート

東京同窓会REPORT

【開催日】 2013 7/7 奥村 幸恵 (国際科2期生)



7月7日(日)、リーガロイヤルホテル東京「ロイヤルホール」にて、2013年度帝塚山学院東京同窓会総会が開催されました。当日は大阪から細川会長と岸本広報委員長が東京へ来られ、私も一緒に出席させていただきました。

卒業生で関西歌劇団に所属されているソプラノ井岡潤子さんの華やかなミニコンサートに始まり、石川理事長のご挨拶、卒業生で衆議院議員の村上政俊氏によるご挨拶、関東在住のマダムコーラス「MADAM e DO」の皆さんの歌、などなど、多彩なプログラムであっという間の2時間半の宴となりました。また、高校・大学の恩師の先生方もお元気でご出席されていました。

会の最後には、ピアノ伴奏に合わせて、毎年恒例の校歌・祝歌・泉ヶ丘讃歌の斉唱。泉ヶ丘讃歌をご存知ない住吉校の諸先輩方がほとんどなのですが、皆さんと一緒に斉唱していただきました。

関東在住の皆さん、ぜひぜひ来年はこの東京同窓会総会に参加して一緒に泉ヶ丘讃歌を歌いましょう。

※来年は7月13日(日)に開催いたします。
[お問合わせ] 泉ヶ丘同窓会事務局 TEL072-293-8680

幹事's 同窓生探訪

dososei-tanbo

泉ヶ丘校の卒業生で現在、気軽に訪ねられるお仕事をされている方を誌面でご紹介することで、職業を通じて先輩・後輩の枠も超えた交流ができればいいなと思います。取材しています。
(取材:普通科6期 岸本威也 国際科5期 井上さくら 普通科7期 畠山貴由 普通科7期 河原田篤紀)



アール・フォトジェニク

稲見 伸介 (普通科7期生)

今回の同窓生探訪は、大阪帝塚山でポートレートスタジオを開いております帝塚山アール・フォトジェニクさんにお邪魔しました。

両親も同じく住吉大社の側で写真スタジオを経営しており、家業を継ぐために老舗写真館に弟子入り修行してきたそうです。

泉ヶ丘校を卒業して大学進学。それまではカメラを持ったとしても小型カメラで、「絞り」とか「シャッタースピード」という、基本的なこともまったく解っていない素人、そこへ就職活動中の自分に、「小さなスタジオだけど、せっかくお得意さまがいるわけだから…」と、写真修行への道へ突入することになります。

修行時代の印象としては、「時代に恵まれていた」

当時、デジタル一眼レフカメラが出る出ないの頃だったそうで、ベテランとルーキーがある面では横一線スタート。ベテランの知識や技術を吸収しながらも、それをこれから開拓して行くであろうデジタルの分野へ、カメラが進歩していくスピードと同じ速さで習得出来たのはとても有り難かった、ということです。

「フィルムからデジタルへ意向するタイミングが難しかった」

そう言う彼の完全にデジタルへ移ることになった切っ掛けは、フィルムの規格のダウンサイジングに対してデジタルは逆行していることを実感したから。かつての8×10や4×5、ブローニーなど、大判・中判カメラを少しでも経験させてもらったことは、今のデジタルカメラを使用する上で非常に役立っていて、あの修行時代の大型カメラのわずらわしさが無くなりながらも、ほぼ同等のクオリティーで撮影出来る日がそこまでやって来てるのは不思議であり嬉しい。あとは、圧倒的に「経済的」ということでしょうか、と写真業の変革の著しさを話していただきました。

撮影する上でのポリシーは、「自分は上手いとは思わない、上手く撮れたと思った時点まで撮る。ただ、そのカット数が少ないことにこしたことはない。チャンバラでなくて居合いの境地と思っています。」状況によって撮影の姿勢はさまざまらしく、取りすぎってしまった時には一人反省会をしているそうです。



アール・フォトジェニク

10:00~17:00 定休日:不定休日

大阪市住吉区帝塚山中4丁目10-13 WILL帝塚山102
TEL 06-6672-1060

活躍する帝塚山同窓生



R・footのRには?
Relax・Refresh・Reset・Renew
Return・Reform・Repair
などの意味が込められています。

自然療法フットケアサロン

R-foot

アール・フット

寺出 泰子 (国際科5期生)

今回お邪魔したもう一方は、トータルフットケアアドバイザーとして、西宮でフットケアサロンを営まれている、国際科5期生の寺出(旧姓:松本)泰子さんです。足が痛いなど、足のトラブルを抱えている方にカウンセリングやフットマッサージといった手法を用い、足の悩みの改善方法をアドバイスするお仕事をされています。

寺出さんは、同志社女子大学を卒業後、アパレル関係の会社に就職。3年ほどを店頭での販売や店長として過ごされます。25歳で結婚を機に退職。しばらくは主婦としての生活を送っていました。

転職が訪れたのは3年前でした。お父様が大阪・駒川商店街でカクマツ屋という靴屋を営まれていたのですが、病気でお店に出られなくなり、当時会社員だった寺出さんのお父様が、お父様のお店を手伝うようになりました。それに伴って寺出さん自身も、仕事をするなら家業である靴屋に何か付加価値を付けられる仕事をしたいと考えようになりました。

当初、靴を売ることに加えるサービスとして、中敷であるインソールや靴の補正のための勉強を始めましたが、勉強していくにつれ靴だけでなく、歩き方や筋肉のほぐし方まで総合的に知っておくことが必要だと感じ、それぞれの分野の資格を取得。2012年9月、現在のサロンを開業されました。

サロンのインテリアはアジアの雑貨などでオリエンタルな雰囲気にとどめ、リラックスできる環境を提供できるようにされています。

施術の流れとしては、初回のカウンセリングで今抱えている悩みやトラブルを聞き、それを基にフットプリントと呼ばれる足型を取ったり、触診をして具体的な症状を把握し、改善へむけての提案をして、数パターンのコースメニューでケアしていくというのが、最も一般的な内容だそうです。

足・靴・歩行をトータルにサポートしていくのが、足のトラブルを解決する近道だと寺出さんは考え、将来的には実家のカクマツ屋と共に、足についてのさまざまな要望に応えられる空間を提供することが夢だと語っていただきました。

また、依頼があれば、足についての講習や講演も行ってくださるそうなので、足について悩みをお持ちの方、一度相談されてはいかがでしょうか?



自然療法フットケアサロン
R-foot アールフット

ご予約・お問い合わせ
070-5652-8284

アメブロ
<http://ameblo.jp/yasuko-t02>

Facebook
<http://www.facebook.com/yasukot02>



プロフィール
フットケアアドバイザー
1・2級、フットマッサージセラピスト健康靴技術士、レグアロマトリートメントシューズセラピー・ウォーキングセラピーインストラクター

第7回 泉ヶ丘同窓会総会・懇親会

普通科3期生 菊之井秀年

平成24年11月18日(日)、ホテル・アゴーラリージェンシー堺にて第7回泉ヶ丘同窓会総会・懇親会が開催され、同窓生108名、来賓・先生方他28名の計136名の参加がありました。2年前にスイスホテル南海大阪にて開催された前回の総会・懇親会に引き続き、たいへん盛況な会となりました。これも先生方が卒業生に、また、社会人、大学生の同窓生は同級生に精力的にお声掛けしてくださったことなど、多くの皆様のご協力を賜りましてこそであり、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

総会では、会計報告や事業報告等が滞りなく執り行われました。その後、懇親会での抽選会では、前回から恒例となりつつある1等のガム島ペア旅行券やiPad、お掃除ロボット、ダイアのネックレスなどの豪華賞品と、さらに同窓生から協賛されたそれぞれのご職業に関する魅力的な商品も数多くあって、2~3人にひとりには当たるといふ、ドキドキワクワクな時間を過ごしました。

懇親会後の同ホテル内のバーでの2次会、同カラオケでの3次会も各学年が混じり合っただけで盛り上がりました。このような「同級生」のくくりを越えた「泉ヶ丘卒業生」という大きな枠組みでの繋がりは、同窓会の持つ大きな役割の一つののだと思いますので、とても有意義な一日になったような気がいたしました。

我々帝塚山学院泉ヶ丘同窓会は、46才以下で構成される若い同窓会です。その秘めた可能性をかたちにすべく、昨今改めて大切さを思い知らされる「絆」や「繋がり」の拠り所としてあるような同窓会を運営して参りたいと存じます。そして、次回開催の泉ヶ丘同窓会総会・懇親会につきましても、また一步深みを増した素晴らしい会にしたいと思いますので、同窓会会員皆様のご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



幹事総会報告

普通科13期生 島田 裕典

平成25年5月25日(土)午後3時より、泉ヶ丘校の文化ホールにて幹事総会が行われました。普通科1期生から昨年度の卒業生である普通科28期生まで総勢31名の幹事が出席しました。また、登副校長・谷教頭にもご出席いただきました。

活動報告、決算と会計監査報告、事業計画などご承認をいただきました。

幹事総会後の懇親会は、普通科28期・国際科27期の新任幹事の皆様の歓迎会を兼ねて「はや 魚太郎 泉北の郷」で行われました。懇親会では、谷教頭・松下先生にもご参加いただき、おいしいお鍋を頂きながら学校に関するクイズを行い幅広い年代の方々と交流を行いました。

同窓会活動にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に申し出ただけでなければ幸いです。



登副校長



谷教頭



細川会長



平成24年度 会計報告

収入の部 (24年度決算)		支出の部 (24年度決算)	
会費	6,940,000	連絡協議会分担金	200,000
総会会費収入	552,000	贈答費	437,268
寄付金収入	0	通信費	143,033
学院創立100周年寄付金	64,680	東京同窓会関連費	82,600
		会誌費	1,062,160
		活動費	140,023
		人件費	2,147,000
		広報費	253,535
雑収入	1,200	泉ヶ丘祭関連費	66,117
受取利息	6,202	総会関連費	1,595,285
合計	7,564,082	備品消耗品費	64,732
		会費返金(転学・退学・入学辞退者)	100,000
		学校協力準備金引当繰入費	200,000
		学院創立100周年寄付金引当繰入費	64,680
		雑費	6,139
		合計	6,562,572

第3回 帝塚山学院泉ヶ丘OB(青雲会) ゴルフコンペを開催しました!

青雲会 第3回幹事 普通科2期生 山下雅伸



平成24年8月26日(日)天野山カントリークラブにて第3回青雲会ゴルフコンペが行われました。夏らしい日差しの中、先生方5名含めOB、OG42名が参加いただき、楽しい1日を過ごしました。今回から期ごとではなくダブルペリアの個人戦に移行し、優勝者は普通科10期生の犬伏君でした。

今回も初参加の方が多かったですが、来年も声を掛け合っ、多くの卒業生にこの会をPRいただければ幸いです。

来年は4期生が幹事を務めますので、今年以上に多くの帝塚山泉ヶ丘OB、OGの参加をよろしくお願いいたします。



FULL SHOT!!

成績表(ダブルペリア)

順位	氏名	グロス	HDCP	NET
優勝	犬伏 健介	82	13.2	68.8
準優勝	角掛 潤一	82	10.8	71.2
3位	林 美伽	88	16.8	71.2
4位	菊之井秀年	99	27.6	71.4
5位	松下 幸博	86	14.4	71.6
6位	藤原 一臣	79	7.2	71.8
7位	阪口 国生	89	14.4	74.6
8位	達 吉隆	94	19.2	74.8
9位	谷 啓介	93	18	75
10位	留守 良太	93	18	75



みごと賞を GET した方々!!



入賞された方々。本当におめでとうございます。

次回コンペ案内希望の方へ

同窓会事務局へ下記の事項をメールで送信ください。次回幹事よりご案内をメールにてお送りいたします。

件名: 青雲会ゴルフ案内希望として
①お名前 ②フリガナ ③科 ④卒期 ⑤性別 ⑥PCメールアドレスを送信ください。

第4回青雲会は、平成25年8月25日(日)に聖丘カントリークラブで開催されました。

沢山のご参加有難うございました。詳細は次号Seiun 21号にて掲載予定です。同窓会HPでもUPされますので、お楽しみに! 第5回青雲会の開催日、場所等ははまだ決定しておりません。同窓会HPに随時情報が更新されますので、チェックしてください。

Club activity Report 2013 部活動報告

中学女子バレーボール部

キャプテン 中学 3年2組 渡邊 咲枝



中学女子バレーボール部は、現在3年生が14名、2年生が13名、1年生が15名で活動しています。一昨年から部員数が一気に増え、毎日30名以上で練習しています。中学生の間は公式試合には出場していないので、今は学校生活との両立や仲間づくり、体力づくりを目標に、主にグラウンドにあるバレーコートで日曜日以外は毎日活動しています。

また、今年度から、堺ブレイヤーズスクールのコーチの木内さん・家志さんに、週1回指導していただいています。バレーボールの技術はもちろん、バレーボールに対する心構えまで教えていただき、ますますバレーボールが好きになりました。

夏休みの部活動は、午前中は自習、午後からはバレーボールという形で行っています。バレーボールも宿題もできるので、とてもうれしいです。また、トレーニングの一つとして、プールに入ることも部員みんなの楽しみです。

部活動内での上下関係はあまり厳しくなく、顧問の清水先生から出される練習メニューを楽しんでいます。この部活動を通じ、心も体も強い人間になれるよう努力しています。



TOPICS

ワンダーフォーゲル部OB・OG会

普通科6期 永岡 慎吾
ngotan@me.com

ワンダーフォーゲル部は毎年川田先生、山本(滋)先生等の先生方と20名程でOB・OG会を行い、昔話、色々な情報交換、更に昨年はこの会が切っ掛けで15歳もの歳の差カップルが誕生するなど、ワンゲル独特の緩い雰囲気の中、世代を越えた交流をしています。今後、創部30周年の記念登山、記念パーティーを予定しております。現在OB・OG会の案内がメールで届いていない方がおられましたら、上記メールアドレスまでご連絡下さい。



茶道部

高校2年1組 田中 茉優



私たち茶道部は、週1回、毎週土曜日に裏千家の先生に来ていただきお稽古しています。ここ数年の間に部員が増え、現在では31名になったこともあり、創部以来お世話になっている鶴崎満枝先生に加え、今年からは、川瀬幸代先生にも来ていただき、お二人のご指導のもとでお稽古に励んでいます。また、中学生・高校生と一緒に稽古し、学年の隔たりなくみんな仲良く活動しています。

茶道部は、茶道の基本はもちろん。礼儀作法も学ぶことができます。また、毎回先生が準備してくださるお花では、いつも季節を感じ、お点前を静かに見ている時など、日常とはまた違う穏やかな時間を過ごしています。

学校外では、幼稚園から大学生まで集まる、裏千家主催の学生の茶会にも参加させてもらっています。私は今年の3月にお点前をさせていただきました。とても緊張しましたが、本当に貴重な経験ができました。お茶会の前には、お道具のことを覚えたり、お茶会のテーマであった、千利休について勉強し、大変でしたが、茶道をすごく楽しむことができました。

毎年、泉ヶ丘祭ではお茶席を準備して、沢山の方が来て下さっています。今年は、作法室で風炉のお点前をさせてもらう予定です。高校生中心に一生懸命にお稽古しています。もし、泉ヶ丘祭に来られることがありましたら、先輩方にも是非お立ち寄りいただけると嬉しいです。



卒業生 母校に 帰る



普通科8期生
藤原 泰雅 先生

私は普通科8期生で、泉ヶ丘校に英語教員として着任して、今年で8年目です。現在は中学3年で担任をさせていただいています。

母校で働くというのは、やはり最初は違和感（といっても、馴染めない違和感ではなく、馴染んでしまうことへの違和感ですが）がありました。着任した年、職員室での私の席は、同じく泉ヶ丘校出身で、なんと私の同級生でもある前田先生の席の隣でした。しかも、私の高校3年間の担任だった脇田先生のクラスや、中高で5年間英語を教えてもらった栗原先生のクラス、教育実習で指導教官をもらった山本倫子先生のクラス、さらに同級生の前田先生のクラスで授業を持たせてもらい、なにやら懐かしいような、気恥ずかしいような、不思議な感じがしたのを覚えています。それから7年経った今年、そのときの教え子の宇藤さんが教員として泉ヶ丘校に戻ってきて、私が担任するクラスの副担任になりました。ここ数ヶ月はやはり不思議な感じがしています。

私は卒業後、かなりの時間が過ぎてから母校に教員として帰ってきました。長い時を経て学校を見ると、もちろん変わらないところもありますが、雰囲気として変わったと思うところもあります。一つには全学共学になったということがあります。以前は男子だけだった中学校や高校6年コースには、女子が入ったことで、随分華やかな雰囲気になりました。また、生徒数が増えたことも影響しているのかもしれませんが、クラブ活動も以前に比べてより活発になったように感じます。行事も増えてきており、現在の泉ヶ丘校は、学業と、クラブ活動や行事などの学業以外とが、バランス良く両立されている学校になっていると思います。

学校も生き物であり、変わっていきかざるべきですが、より良い学校に変わっていきけるように、私も一教員として、微力ながら努めていきたいと思っています。

泉ヶ丘祭 info

衣SHOW!

—衣装貸出館—

2013年 **9月14日(土)** 10:00~OPEN

この文化祭を思い出に残る日にしてもらうため、様々な衣装をご用意させていただいておりますので、是非お越しください☆

場所
国際科(B棟) グループ教室6・7
エントランスホールより下がる
地下1F

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

創立30周年記念事業の報告

1. 創立30周年記念式典の開催

2013年(平成25年)5月11日(土)、堺市立東文化会館において、創立30周年記念式典を開催しました。記念式典は学校報告会と祝賀会の2部構成で、帝塚山学院と帝塚山学院教育後援会の共催によって開かれました。私立・公立学校の関係者、帝塚山学院の理事及び評議員、教育後援会の役員、PTA役員・保護者、泉ヶ丘同窓会の関係者、教職員、退職者など約200名の方々にご参加いただきました。



なお、学校報告会では、山中返晶氏(能楽師、普通科3期生)に「祝言半能高砂」を演じていただきました。創立記念式典に相応しい、格調高く荘重な能舞台でした。

2. 創立30周年記念式典アルバムの制作

稲見伸介氏(写真家、普通科7期生)のご協力により、記念式典を記録するアルバムを制作しました。フルカラー100ページ、ハードカバー、合紙ケース入りという立派な写真集に仕上がっています。そこに収められている写真は式典の雰囲気や人々の動きを写すものばかりで、記録として残すアルバムに相応しいものです。稲見伸介氏のご厚意で寄贈していただきました。



3. 創立30周年記念誌『あこがれは 遠く高く』の制作

泉ヶ丘校教育の特色と30年の歩みを記録する記念誌を制作しました。サイズはA4版、本文は789ページ、装丁はハードカバー、カラー合紙ケース入り、表紙は布クロス・金箔押しです。構成は、第I部(泉ヶ丘校教育の特色)、第II部(教育活動の記録)、第III部(資料編)、泉ヶ丘校の財産、思い出のアルバムからなります。



4. 創立30周年記念レリーフ「泉ヶ丘讃歌」の制作

校歌「泉ヶ丘讃歌」の記念レリーフを制作しました。泉ヶ丘讃歌の歌詞の下に、泉ヶ丘校の正面デザイン図を描いたレリーフです。サイズは横1630mm×縦930mm×厚さ20mm、材質はアルミ鋳物・塗装仕上げ(青銅色)です。昇降ホール中央の壁面、毎朝登校してくる生徒を迎える位置に取り付けました。



5. 創立30周年記念品「スポーツタオル」の制作

泉ヶ丘同窓会会長の細川博氏(細川毛織株式会社社長、普通科3期生)のご協力により、記念品(スポーツタオル)を制作しました。サイズは80cm×34cm、ポーター部分に帝塚山学院のスクールカラーであるエンジと紺の二本線を織り込み、そこに織り柄で校名と設立年が入っています。また、その上に、刺繍で校章とロゴ(30周年)を入れ、さらに校章の中の「松ぼっくり」の部分は金糸の刺繍というデザインです。



6. 創立30周年記念・PTA教育講演会

5月18日(土)の午後、泉ヶ丘校文化ホールで開催しました。今回は、京都大原の地で古民家を再生し、庭造りでも有名なベニシア・スタンリー・スミス氏に、「心の声を聴きましょう」というテーマで講演していただきました。今回は、在校生の保護者だけでなく、卒業生の保護者や併設校の卒業生も参加されました。記念行事として学外に門戸を開いたことで、多くの方々にご参加いただくことができました。

7. 創立30周年記念・文化講演会

5月22日(水)は中学生、5月23日(木)は高校生を対象に開催しました。大阪四季劇場を2日間借りきり、ロングラン公演を続ける「ライオンキング」を鑑賞しました。今回は、創立30周年記念行事ということで、約400名の保護者、約100名の卒業生、約100名の学院教職員・関係者に観劇していただくことができました。卒業生と在校生、保護者と教職員が共に楽しみ、親睦を深める一日となりました。

100周年記念募金事業のお願い

学校法人帝塚山学院は、創立100周年を期に、深刻かつ急激な情勢変化等により経済的に修学困難となった学生・生徒・児童たちが一人でも多く進学・卒業できるように、独自の奨学金制度をスタートさせたいと考えております。創立100周年を期に募る募金は、全額この「帝塚山学院奨学金基金」の資金に充当します。

募金要項の骨子

- ① 募金目標額 3億円 募金口数 1口3万円(2口以上のご協力をお願いします)
*1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。
- ② 募集対象 本事業に賛同頂ける、在校生および卒業生の保護者、新旧の教職員、同窓生、学院関係者並びに法人(企業)
- ③ 募金用途 学生・生徒・児童への奨学金基金に充当します。
- ④ 募金期間 2010年7月から2016年3月まで *期間終了後も継続して募集してまいります。
- ⑤ 芳名録の作成 寄付申込を提出された方々のお名前を継続的に芳名録に記載し、「学院通信」などでお知らせいたします。最終的には募金期間終了後、寄付金の金額を記した最終芳名録を作成し、学院に永久保存して顕彰させていただきます。なお、ご本人の希望により匿名扱いもいたします。
- ⑥ 寄付者の顕彰 芳名録に基づき、個人100万円以上、法人300万円以上の寄付者については、学院・住吉キャンパス内に「帝塚山学院創立100周年記念事業寄付者銘板」を設置し、顕彰いたします。
- ⑦ この寄付金は、確定申告等により所得控除又は税額控除の適用を受けることができます。詳しくは100周年記念事業局にお問い合わせください。

お問い合わせ 学校法人帝塚山学院 創立100周年記念事務局 〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51
Tel : 06-6672-1960 Fax : 06-6678-8797 E-mail : 100nen@tezukayama.ac.jp URL : http://www.tezukayama.ac.jp

アドミッションセンターより

平成25(2013)年度 泉ヶ丘校の入試結果

中学入試は、1次入試(約120名)、2次入試(約30名)、後期入試(約10名)と3回の入試を実施しました。1次入試では昨年度と同じ210名の受験生があり、1次、2次、後期入試合わせて160名の募集定員に対して217名の新入生を迎えることができました。

高校入試は、募集定員80名に対して、入学者数は81名となりました。中学・高校の受験者・合格者・入学者の数、合格者平均点などの詳細はホームページに掲載しています。また、次年度の入試に関する情報についても随時掲載していきます。

平成26(2014)年度 入試のお知らせ

【入試関連行事の日程】 ※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

区分	入試説明会	10月5日(土) 14:00~	児童・保護者対象の説明会です(予約不要)。
中学入試関連	プレテスト	11月4日(月・祝) 8:20~	小学6年生対象で、事前の予約が必要です。同時に、保護者対象の入試説明会も開きます。
	プレテスト個別懇談会	11月16日(土) 9:00~	プレテストの参加者を対象に行います。予約は、プレテストの後に受け付けます。
高校入試関連	高校体験入学	11月9日(土) 13:30~	中学3年生対象で、事前の予約が必要です。
	入試説明会	10月26日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	入試説明会	11月30日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。

【中学校入試について】

■ 募集人数・日程

区分日程	1次入試 1月18日(土)	2次入試 1月19日(日)	後期入試 1月20日(月)午後
募集コース	医進 特進A 特進B	医進 特進A 特進B	医進 特進A
募集人員	医進(約40名)・特進A(約80名)・特進B(約40名) 約160名		

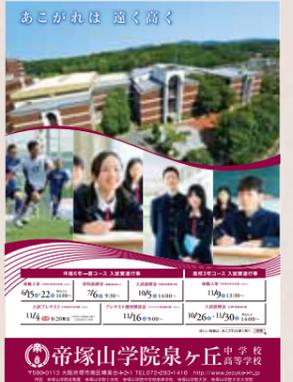
● 特待生・特奨生制度 いずれもプレテスト及び入学試験において優秀な成績を収めた受験生が対象となります。ただし、専願出願に限ります。

【高校入試について】

■ 募集人数・日程

コース定員	1次入試 2月10日(月)・11日(火・祝)	帰国生入試 1月21日(火)
普通科(理数) 国際科	約80名	(約5名) ※内数

● 特待生・特奨生制度 いずれも学業優秀で、中学校長の推薦を受けた受験生が対象となります。



撮影:長谷波淳弘(普通科10期生)

平成25(2013)年度 大学入試の結果報告

(卒業生数235名 平成25年4月6日判明分)

◆ 国公立大学

京都大学	3名
大阪大学	5名
神戸大学	6名
名古屋大学	1名
和歌山県立医科大学	1名
神戸市外国語大学	2名
大阪市立大学	3名
大阪府立大学	12名
京都府立大学	2名
その他(短大含む)	46名
合計	81名

◆ 私立大学

早稲田大学	2名
慶応義塾大学	1名
上智大学	1名
同志社大学	46名
立命館大学	28名
関西学院大学	51名
関西大学	63名
近畿大学	54名
帝塚山学院大学	7名
その他(短大含む)	170名
合計	423名

◆ 医学部医学科

和歌山県立医科大学	1名
近畿大学	2名
東京女子医科大学	1名
兵庫医科大学	1名
その他	2名
合計	7名

◆ 歯学部

大阪歯科大学	1名
朝日大学	1名
松本歯科大学	1名
合計	3名

◆ 薬学部

近畿大学	4名
同志社女子大学	4名
武庫川女子大学	4名
京都薬科大学	3名
大阪薬科大学	8名
神戸薬科大学	6名
大阪大谷大学	5名
摂南大学	3名
その他	3名
合計	40名

第2回 キャリア教育(職業体験)を実施します

中学3年生を対象に関心のある職業を調査し、それをもとに職業体験が可能な大学や研究所、企業などを訪問します。第1回は、12ヶ所の訪問先から2ヶ所を選び、1日ずつ体験しました。3学期には、体験した内容を保護者や中学生全体にむけて発表する報告会を開催しました。同窓生の方で、職業体験の訪問先としてご協力いただける方は下記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いいたします。

- 日程 11月7日(木)・8日(金)
- 見学場所 約10ヶ所
- お問い合わせ先 アドミッションセンター TEL.072-293-1416

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp

スマートフォン
サイトを開設
しています。



帝塚山学院

泉ヶ丘東京同窓会のご案内

2013
11.16 Sat
18:00受付 18:30開宴

泉ヶ丘校が開校して今年で30年。同窓生は約7,000名を数えるまでになりました。また関東一円にも数百名の同窓生がいらっしゃいます。大阪では2年ごとに泉ヶ丘校全体の同窓会を開催しておりますが、今回、東京での初の全体同窓会を開催することになりました。大阪より、脇田校長・登副校長・谷教頭もご出席いただける予定です。関東にお住まいの方、もちろんそれ以外の地域の方、泉ヶ丘中学校高等学校の卒業生であればどなたでもご参加頂けます。

場所：ザ・キャピトルホテル東急 鳳凰の間
東京都千代田区永田町2-10-3
www.capitolhoteltokyu.com

会費：一般(1~22期) 7,000円
学生(23~28期) 3,000円
同伴者(泉ヶ丘卒ではない方) 10,000円
お子さま(3歳以上) 2,000円



MESSAGE



校長 脇田 忠昭

泉ヶ丘校は、今年創立30周年を迎えました。卒業生の皆さんが築き上げた30年です。これを機に、関東在住の同窓生の皆さんの集まりを持つということをお聞きし、大変うれしく思っています。その時には、多くの懐かしい皆さんとお会いできると思います。楽しみにしていますので、ぜひ出席してください。

昨春、同窓会組織に〈東京委員会〉が設立し、ちょうど拠点を東京へ移した私が委員長をさせていただくこととなりました。東京委員会メンバーや同級生達のサポートにも恵まれ、東京での同窓会活動を始動いたしました。今年は学校創立30周年という節目でもあり、その節目の年に第1回目の東京同窓会総会を開催できることをたいへん嬉しく思っております。また、住吉校の同級生である平松加奈さんの華やかなヴァイオリン演奏も楽しみです。2年毎に総会が開催され、学年を問わず同窓生たちの親交が深い大阪のように、東京の同窓生の方たちが、これを機に交流の場を広げていけるような楽しい《東京同窓会》になるよう、関東圏に在住のみなさまのご参加を、東京委員会メンバー一同心よりお待ちしております。



泉ヶ丘東京同窓会委員長 奥村 幸恵 (国際科2期生)

今回はゲストとして帝塚山学院卒業生の平松加奈さんに華をそえていただきます。

profile

大阪府出身ヴァイオリニスト。ジブシージャズスタイルの演奏で、フラメンコを中心にラテンジャズやワールドミュージックのコンサート、レコーディングに参加し、国内外での年間公演は200回を超える。2010年にはフラメンコ界の巨匠ディエゴ・カラスコ、故モライート・チコと共演。リーダーバンド「平松加奈 con Armada」は2013年1月に自作曲でアントニオ・カナーレスと共演。またNHK人形劇「新三銃士」の音楽を担当した「スパニッシュ コネクション」のメンバーでもある。帝塚山学院小学部・中学部・高等部の出身。



泉ヶ丘同窓会会長 細川 博 (普通科3期生)

同級生や、クラブのOB会など、関東在住の同窓生が個別に集まる事はありましたが、泉ヶ丘校の全同窓生を対象にした集まりは初めてです。東京委員会の皆さんも設営に向けてがんばってくれています。皆様奮ってご参加下さい！

東京在住 卒業生のメッセージ



松本 隆司 (普通科1期生)

同級生同士だけでなく、先輩・後輩とも交流し、東京での泉ヶ丘ネットワークを作りましょう。仕事に生かせると思います。



中島 啓樹 (普通科3期生)

サッカー部では毎年東京で集まっていますが、この度泉ヶ丘の東京同窓会が立ち上がりました。帝塚山の良いところは縦と横の繋がりが良いと思います。この会がどんどん発展していく事を願っております。



得田知栄子 (国際科3期生)

ご縁をいただき、東京同窓会開催に携わることができ、とても嬉しく思っています。ただいま、戻れる場所が東京にもできるなんて！私たちの学年は、普通科4期生のみなさんがいつもとても頑張ってください（いつもありがとうございます！）、これを機に、国際科3期生のプレゼンスも上げたいと思います（笑）。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。



中川 恵介 (普通科7期生)

東京デビュー（上京）は、社会人になってからですが、はやいもので15年も経ちまして、言葉は相変わらず関西弁（たまに標準語）ですが、生活はすっかりこちらに染まっております。東京ではなかなか帝塚山の同級生＆同窓生の方々とお会いする機会がないので、初の東京同窓会でみなさまとお会いできるのを楽しみにしています。



堀本 卓志 (普通科10期生)

社会人になり8年東京、2年大阪で現在、2回目の東京4年目です。その間、たくさんの帝塚山泉ヶ丘の先輩、後輩の方々と交流が私の糧になっています！今回の総会を機にさらに帝塚山泉ヶ丘の先輩、後輩の輪を広げたく思っております！皆様の御参加楽しみにしています！



徐 政裕 (普通科14期生)

4年前に転勤で上京してきました。帝塚山泉ヶ丘での東京の繋がりは年に数回のサッカー部の集まりくらいでした。今回を機に色々な方々とお会いできるのを楽しみにしています。



中村 稔 (普通科2期生)

帝塚山を卒業して20年以上の年月が経過しました。大学も就職も東京ということもあり、大阪に帰る機会が多くありません。このような機会が多くの方々とお会いできるの楽しみにしております。



大野 義明 (普通科3期生)

もう東京在住14年になりました。なかなか大阪の泉ヶ丘同窓会の集まりには参加出来ませんので、今回の東京同窓会は絶好の機会だと思っております。記念すべき1回目の東京同窓会、関東在住の我々では是非盛り上げていきませんか？



西田 大蔵 (普通科6期生)

同窓会は、思い出話はもちろんの事、価値観は近くて、年代・業種が異なる同窓生の話を聞くことで、気持ちは新鮮に、仕事にはヒントになり、人脈が広がるのが何よりの魅力です。今年の同窓会、楽しみにしています。



吉田恵美子 (国際科7期生)

国際科7期生の吉田恵美子です。私も東京在住10年になりますが、今回初の東京総会にできるだけたくさんの同級生、先輩、後輩に会えるのを楽しみにしていますね。



福井 勇祐 (普通科13期生)

大学入学と共に上京して14年。一度転勤で大阪にいましたが、転職を機に2回目の東京生活です。大阪と違い、東京ではなかなか同期、先輩、後輩と交流が薄れていましたが、総会で皆様とお会いできるのを楽しみにしています！



山本真悠子 (国際科14期生)

2000年に泉ヶ丘卒業と同時に上京し、以来13年東京で暮らしています。東京で泉ヶ丘卒業生と集まれる機会はなかなかありませんでしたので、今回色々な方とお話しさせていただけることをとても楽しみにしています。

Facebook から参加申込ができます。 <https://www.facebook.com/events/456862207744640/>

第1回 泉ヶ丘東京同窓会申込書

FAX送信票

フリガナ		フリガナ		男・女
お名前		旧姓		
同伴者		お子様	年齢	歳
コース	普通科・国際科 () 期生	会員番号		
電話番号	() -	Eメール		

FAX送信先 072-293-8680 詳しい情報や参加申し込みはWEBにて! <http://www.tezuka-izumi.jp/>

新任のごあいさつ

泉ヶ丘同窓生の皆様

平素は同窓会活動へのご参加ならびにご協力、誠に有り難うございます。

昨年11月の同窓会総会にてご承認頂き、会長に就任してからもうすぐ一年になります。

山根前会長が進めてこられた「活発な同窓会活動」をさらに前に進めるよう、役員・幹事の皆様と団結して運営にあたってまいりたいと思います。

さて、今号の特集でも取り上げさせて頂きました「泉ヶ丘讃歌」ですが、泉ヶ丘校ではすでにおなじみですね。

これとは別に、帝塚山学院の学院歌や祝歌もご存知ですか？歌詞を完全に暗記されている方は少ないかもしれません。

泉ヶ丘校は、三年後に創立100周年を迎える「帝塚山学院」グループの一員でもあります。私たちには、泉ヶ丘讃歌をはじめとして、学院歌や祝歌など、心をひとつにする素晴らしい歌が三つもあります。

同窓会の色々な集まりで、未永く歌い継いでいきたいものですね。



泉ヶ丘同窓会会長
細川 博 (普通科3期生)

みなさんも登録してみませんか？

同窓生の活躍を、お勤め先や経営されている会社名などをWeb上で掲載し、ご紹介しています。新たな交流の場として、つながりや発見、新しいビジネスモデルがここから生まれるかも…!? ホームページを活気あふれるものにしていくためにも、みなさんのご登録を待っています！

1 TOPページ右下の「同窓生の活躍」というバナーをクリック。そこに一覧が掲載されています。

2 一番下の掲載方法とお申し込みをクリックして、フォームに必要事項を入力してください。

TOPページ

同級生の活躍ページ

掲載期間は10月から翌年9月までです。お申込及び更新期間は毎年7月頃を予定しております。

掲載の方には、同窓会協力金(2口以上、1口2,000円)へのご協力をお願いしております。掲載に際しては、簡単な審査がございます。ご掲載のご希望に添えない場合もございますので、ご了解ください。掲載内容につき、文字数の関係上調整を行う場合がございます。ご了解ください。

ホームページアドレス

<http://www.tezuka-izumi.jp/>

E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

T590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局

TEL&FAX.072-293-8680

編集後記

広報委員長 **岸本威也** (普通科6期生)

みなさんこんにちは! 広報委員長の岸本です。一年に一回の発行ですが、早くも今年の青雲の季節がやって来ました。

今年の泉ヶ丘校は創立30周年記念で、学校も同窓会も様々な行事やイベントで節目の年をお祝いました。

その中でも、筆者自身の大きな出来事は、やはりさとう宗幸氏を訪ねて仙台へ取材に行ったことですね。このタイミングで、泉ヶ丘讃歌にまつわるお話、東日本大震災に関するお話をお聞きできたことは、私自身にとっても非常に貴重な経験となりました。

自分の思いや考えを人に伝えるのはなかなか難しいですが、この時感じた思いを、できれば皆さんとも共有できればいいなと思っています。

また来年以降の課題がひとつ増えました(笑)。

まだまだ暑い日が続きますが、元気に過ごしていきましょう!



表紙のご紹介

谷口侑里映 高校1-3

7月末に神奈川県で行われた、座間全国舞踊コンクール高校生の部で7位に入賞しました。この後、福岡県で行われるアジアの大会にも出場予定。勉強とバレエを両立させ、忙しくも充実した学校生活を楽んでいます。



KISHIMOTO